

2013 平成25年

10

第67号



台風一過の青空が続き、過ごしやすい季節となりました。たくさんの雨が降り、「あいあいホールは大丈夫ですか」と、たくさんの方からご心配をいただきました。どうもありがとうございました。

これからは、スポーツの秋、芸術の秋、そして食欲の秋！秋は栄養豊富な食べ物がたくさんあります。旬の物をいろいろ食べて抵抗力をつけ、かぜなどにかからない体づくりをしましょう。

久御山町子育て支援センター

あいあいホール所長 辻 彰子

子育て支援センター あいあいホールでは

*プレイルームでは、就学前の親子が遊べます。

*みるく♡サロンは、水曜日 午前10時30分～正午まで談話室で開いています。

(対象は2、3か月から10か月ぐらいまでの赤ちゃんとその保護者、妊婦さんです)

*午前・午後の2回お片づけの時間を決め、その後親子で、手遊びや体操などを行っています。

*子育てに困っていること、悩んでいることがあれば、お気軽にご相談ください。

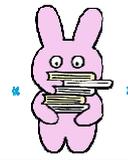
開館時間 午前8時30分～午後5時
(プレイルーム利用時間 午前9時～午後4時)

休館日 月曜日・祝日・日曜日(第2日曜日は開館)

【発行】 久御山町子育て支援センター「あいあいホール」
TEL 0774(41)2263 / FAX 0774(41)2283



絵本は、好きかな？



生後10ヶ月ぐらいになると、読み手のことばを聞きながら絵本と一緒に楽しめるようになるといわれています。そろそろ我が子にも絵本を読んであげようと思っておられるおかあさんもおられるのではないのでしょうか。

赤ちゃんは、ゆっくりと読んであげると聞いているときもあるし、初めのページではあまり反応を示さないのに、大好きなページにくると大喜びするということがあります。本はめくりながら見るものということもわかってくるし、自分でめくりたがることもあるでしょう。

めくりたがったら気がすむまでめくらせてあげて、喜ぶページは見ただけ見せて、好きな本は繰り返し読んであげましょう。

大事なのは、一緒に本を見る楽しさを感じてもらうことで、内容を伝えることではありません。絵本に親しみ、楽しむことなのです。



じっと眺めるより、なめたり破いたりしたがるようでしたら、別のおもちゃで遊びましょう。

大好きな人の膝にすわり、その人の声で、その人の心も添えて読んでもらう、そのことで一段と絆も深まることでしょう。ゆったりとした気持ちで丁寧に読んでいくことが大切です。



絵本を見て、指さしをしたときは、興味をもっているものや、知っているものがでてきたことを知らせているのです。

子どもの気持ちになって、「ワンワン！ワンワンいたね」などと、ことばで返してあげてください。

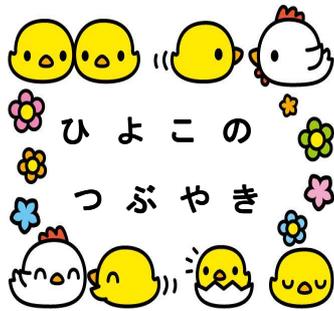
いつも同じ絵本を持ってきて読んでほしいのは、その本がその子の興味に合っているからです。何度でも読んであげてください。

* 赤ちゃんには、どんな絵本がいいのかな？



- ・身近な、身の回りのものや、動物、乗り物、果物など知っているものがでてくる
- ・繰り返しのことばや、リズムカルで響きのよいことばがでてくる
- ・絵が実物に近い印象で描かれている

…などです。ぜひ、おかあさんもいっしょに絵本を楽しんでください。



10月10日は、目の愛護デー

子どもの目は毎日発達していて、両目の視力機能は6歳ごろにほぼ完成すると言われています。その後に視力が低下するのは、幼いころの姿勢や体の動かし方が関係しているそうです。

自然の中で十分に遊ばせ、外の景色をたくさん見せることで子どもの視力を育てていきましょう。

こんな見方は危険信号！

- ・テレビや絵本に近付いてみる
- ・明るい戸外でまぶしがる
- ・目を細めてみる
- ・上目遣いに物を見る
- ・見るときに首を曲げたり、頭を傾けたりする

* 子どもは視力が悪いことを自覚できないため、上記のような症状がないか、普段から気にかけて見るようにしてあげてください。



秋は薄着の服装で



10月になると、肌寒く感じる朝が増え、ついつい子どもに厚着をさせたくくなります。しかし、本格的な寒さを迎える前のこの時期に薄着の習慣をつけておけば、かぜを引きにくい体になります。

外気を肌で直接感じることで自律神経が整い、病気への抵抗力が高まるからです。「大人より1枚少なめ」を目安に、薄手の衣服を重ねるなどして、じょうずな体温調節を行いましょう。



平成25年度から、第2日曜日を閉館しています。
10月は13日です。